

# 網膜色素変性の QOVを科学する!!

ランチョンセミナー2

2014年6月28日(土)

12:10▶13:10

アリスアクアガーデン品川〈第2会場〉



座長

三重大学大学院医学系研究科  
臨床医学系講座眼科学 教授  
近藤峰生 先生

## HFA10-2 による網膜色素変性の 進行とQOV評価

山梨大学大学院医学工学総合研究部 眼科学 教授 飯島裕幸 先生

特別  
講演 1



## 患者に寄り添う網膜色素変性の診療

千葉大学大学院医学研究院 眼科学 教授 山本修一 先生

特別  
講演 2



第3回日本視野学会学術集会へのご参加には参加登録が必要です。2014年6月2日18:00まで早期割引を実施しております。(※以降は当日登録となります) 詳細はホームページをご参照ください。 <http://jps.umin.jp/meeting/m-index.html>

# 網膜色素変性のQOVを科学する!!

座長

三重大学大学院医学系研究科 臨床医学系講座眼科学 教授 近藤峰生 (こんどう みねお)

【略歴】

- 1991年 金沢大学医学部 卒業
- 1997年 名古屋大学大学院 修了
- 1999~2001年 ミシガン大学 眼科 留学
- 2006年 名古屋大学大学院医学系研究科 感覚器障害制御学 准教授
- 2011年 三重大学大学院医学系研究科 臨床医学系講座眼科学 教授

特別講演 1

## HFA10-2による網膜色素変性の進行とQOV評価

山梨大学大学院医学工学総合研究部 眼科学 教授 飯島裕幸 (いじま ひろゆき)

周辺視野狭窄が主要症状である網膜色素変性(RP)では、通常ゴールドマン視野検査が広く行われている。しかし眼科医を受診する患者さんの多くは、すでに10度程度以下の中心視野しか残存していないことが多い。そこでわれわれはRP患者の進行モニターのために、ハンフリー中心10度視野HFA10-2を毎年検査し、そのMD slopeを進行評価に利用してきた。その結果、あと何年で-30dBという事実上の失明に近い状態に至るようになるかという失明予測が可能となっている。その結果は少なくとも進行速度の遅いことが判明した患者さんには、失明の恐怖から解放される福音となる。

さらにHFA10-2プログラムでの68ポイントの測定点は、固視点からの距離によって9グループに分類できる。現在各グループの平均感度の進行を調べていて、それにより個々のRP眼におけるQOVの詳細な評価が可能になろうとしている。

【略歴】

- 1978年 東京大学 医学部 卒業
- 1982年 山梨医科大学 眼科 助手
- 1983年 山梨医科大学 眼科 講師
- 1986年 山梨医科大学 眼科 助教授
- 1987年 米国 UCLA ジュールスタイン研究所 留学
- 1999年 山梨医科大学 眼科 教授
- 2003年 山梨大学大学院医学工学総合研究部 眼科学 教授  
(2002/10の大学統合と2003/4大学部局化による名称変更による)

特別講演 2

## 患者に寄り添う網膜色素変性の診療

千葉大学大学院医学研究院 眼科学 教授 山本修一 (やまもと しゅういち)

網膜色素変性の診療と言えば、視力、ゴールドマン視野、眼底の3点セットが定番でしょうか。年に一、二度診察しても、どれもいつも同じ。「変わりないですよ」と患者に言っても、「いや、絶対に見え方が悪くなっています」と納得しない。「どうして進んでいることが分からないのですか?」と怒られてしまうことも。網膜色素変性は、慢性進行性の疾患ですから、患者の訴えが正しいのですが、3点セットではそれを客観的に裏付けることができなかつたのです。

しかしハンフリー視野やマクロペリメトリで眼底中心部の網膜感度を測定すれば、確実にゆっくりと低下しています。さらに黄斑部の光干渉断層像では、視細胞内節外節接合部(IS/OSライン)は確実に短縮し、眼底自発蛍光で変性部位と正常部位の境界にみられる過蛍光リングも確実に小さくなります。そして、OCTや眼底自発蛍光で見られる変化は、網膜感度の低下ときれいに相関し、自覚症状の悪化を見事に裏付けています。ハンフリー視野もOCTも、そして眼底自発蛍光さえも眼科の標準装備となりつつあります。もう3点セットからは脱却し、より患者の訴えに寄り添う診療をしませんか?

【略歴】

- 1983年 千葉大学 医学部 卒業
- 1989年 千葉大学大学院医学研究科 修了
- 1990年 富山医科薬科大学 眼科 講師
- 1991年 コロンビア大学 眼研究所 研究員
- 1994年 富山医科薬科大学 眼科 助教授
- 1997年 東邦大学 佐倉病院眼科 助教授
- 2001年 東邦大学 佐倉病院眼科 教授
- 2003年 千葉大学大学院医学研究院 眼科学 教授
- 2007年 千葉大学医学部附属病院 副院長兼任
- 2014年 千葉大学医学部附属病院 病院長兼任

第3回日本視野学会学術集会 共催セミナー一覧

開催日	開催時間	プログラム名	テーマ	会場名	共催社名
6月28日(土)	12:10 - 13:10	ランチョンセミナー1	徹底説明!QOV	第1会場 THE GRAND HALL	日本アルコン株式会社
	12:10 - 13:10	ランチョンセミナー2	網膜色素変性のQOVを科学する!!	第2会場 アリスアックアガーデン品川	株式会社アールテック・ウエノ
	8:00 - 9:00	モーニングクルーズ1	緑内障メグスリ、そしてQOV...	第1会場 THE GRAND HALL	参天製薬株式会社
	8:00 - 9:00	モーニングクルーズ2	QOV直結!~SAP-OCTの測定値のHigh&Low~	第2会場 アリスアックアガーデン品川	ファイザー株式会社
6月29日(日)	11:50 - 12:50	ランチョンセミナー3	「前」と「後」の眼疾患とQOV	第1会場 THE GRAND HALL	参天製薬株式会社
	11:50 - 12:50	ランチョンセミナー4	ロービジョン:最新版ITのQOV対策	第2会場 アリスアックアガーデン品川	千寿製薬株式会社 大塚製薬株式会社